

令和2年度 第1回大阪府立桃谷高等学校学校運営協議会 記録

新型コロナウイルス感染症拡大対策のため、令和2年度第1回会議の開催を取りやめ、書面による意見聴取の形式とした。7月9日に各委員に会議資料を送付し、7月22日までに意見等を郵送いただいた。以下、いただいた意見等を取りまとめ議事録とした。議事録については各委員に送付し確認していただいた（8月20日送付）。

1 会議日 令和2年7月22日（水）意見聴取の返送期日

2 場所 会議開催によらず郵送による意見聴取とした

3 委員名

梅田和子 委員（近畿大学特任教授）、 大西啓嗣 委員（大阪市立天王寺中学校長）、
山口照美 委員（生野区長）、 加藤曜子 委員（流通科学教授）、
篠崎静夫 委員（同窓会会長）、 仲村英理 委員（PTA 副会長）

4 議事内容（意見聴取の主な内容）

- （1）新型コロナウイルス感染症対策について
- （2）令和2年度 各課程各部の取組みについて
- （3）令和3年度使用教科用図書選定理由書について

5 資料及び意見等について

（1）新型コロナウイルス感染症対策について

・これまで経験したことのない状況の中で、様々な取り組み、ご苦労様です。第2波も踏まえた、「オンライン授業」の試行と体制の整備についての準備も、本当に必要になる可能性が高くなっているかと思えます。私も、大学でGoogle ClassroomとZoomを使った授業をしています。授業を始めるまでの準備も大変でしたが、授業を始めたら教材準備や課題の点検等、これまでの対面授業以上に時間がかかります。先生方の力を結集し、効率よく実施できる方法を検討することも必要ではないかと思えます。

・引き続き万全の対策をお願いします。

・マスク着用・うがい・手洗い・アルコール消毒の徹底を。一番怖いのはコロナ無症状者で人から人への感染です。PCR検査や抗原検査、抗体検査をしてコロナを撲滅させなければなりません。9月からの第2波が怖いです。しっかりした予防対策、三密回避の徹底、コロナとの戦いに勝たなければなりません。

・新型コロナ対策において、休校中の課題設定や生徒の学びの保障や双方向オンライン授業や連絡を取れる仕組みについては「自治体格差」「学校間格差」が露骨に表れることとなった。府教委の指示を待つのではなく、積極的にできることに今後も取り組んでいただくことと、保護者や生徒とのオンライン面談が可能になれば今後の学校運営上も効率化や不登校・中退対策にもつながるので、まずは教員間でWEBミーティングをするなど、チャレンジしてほしい。

・コロナ対策については、マスク・手洗い等きちんとされていたと思います。授業が始まる時も登校の時間帯を分けられていたのでもいいと思います。第2波が来た時の準備なども考えておられますので安心できます。

・コロナの為、進路説明会がなくなったので少し不安はあります。

(2) 令和2年度 各課程各部の取組みについて

【多部制単位制Ⅰ・Ⅱ部について】

・資料2は、Ⅰ・Ⅱ部としての全体としての取組みが、1枚にまとめられていてわかりやすいと思います。

・1(4)「働き方改革」という点において、この間、様々な取組みで業務の種類や量が増えてきているのではないかと思います。業務の整理や、効率化を是非とも検討してください。

・進路や支援に関して、SCやキャリアカウンセラーなどの専門家も含めた組織体制が整っているように見受けられます。今後、経済の落ち込みがすでに始まっている中、就職活動やアルバイトしながら通うことが難しくなる可能性もありますが、生徒ひとり一人が「桃谷高校に通って達成したい目標」を折に触れて確認し、サポートしてほしいところです。区役所ではハローワークとの連携を、若者支援も含めて強化していく予定なので、何か一緒にできる機会があるかもしれません。

・令和5年までになるべく子ども達（成人の方も含めて）が卒業できるような取組みはすばらしいと思います。

【定時制の課程および多部制単位制Ⅲ部について】

・学校経営計画の「概要」により、Ⅲ部の取組みがよくわかります。

・4(1)「働き方改革」という点において、この間、様々な取組みで業務の種類や量が増えてきているのではないかと思います。業務の整理や、効率化を是非とも検討してください。

・(Ⅰ・Ⅱ部と同様に)進路や支援に関して、SCやキャリアカウンセラーなどの専門家も含めた組織体制が整っているように見受けられます。今後、経済の落ち込みがすでに始まっている中、就職活動やアルバイトしながら通うことが難しくなる可能性もありますが、生徒ひとり一人が「桃谷高校に通って達成したい目標」を折に触れて確認し、サポートしてほしいところです。区役所ではハローワークとの連携を、若者支援も含めて強化していく予定なので、何か一緒にできる機会があるかもしれません。

・いろいろと気を配られ、対応された様子が伺えました。

・夏季休業が短くなり暑さが増すことから、マスク着用については、なかなか難しくなる場合もあるかと想像しております。室内の冷房等は大丈夫でしょうか。

・わかる授業や、コミュニケーション力をつけるとか、あきらめない気持ち等、親のような気持ちで取り組んでいただいていると思います。

【通信制の課程について】

・説明プリントで、課題とその解決に向けての取組みがよくわかります。

・2(2)「研究スクーリングプロジェクトチーム」を結成し、スクーリングの在り方を追求する

ことは、通信制の課程にとって、大変意義のあることだと思います。次回の会議で、検討状況をお聞かせいただければと思います。

- ・「研究スクーリングプロジェクトチーム」は効果を期待できる取組みだと思います。教育課程の準備も大変かとは思いますが、公立の希少なセーフティネットの学校として社会に開かれた教育課程を作り上げていただければと思います。地域学習や自立のための行政のかかわり方など、関われる分野では区役所も協力しますのでお声掛けください。

- ・昨年度、生野区長様がいわれていた ICT の活用など考えておられるのは、これから先の事を思うと方向性は良いと思います。

【全般について】

- ・今日的な課題や生徒のニーズ・現状に応じた取組みをすすめられており、アンケート結果などにおいても肯定的な回答が増加している。

- ・新教育課程への移行やキャリア教育の充実に向け、引き続きお取り組みいただきたい。

- ・卒業後の進路について、大学・専門学校共に学校の対応・支援について気になります。大学に進学する生徒がもう少し増えないのか、専門学校に進んだ生徒が社会で活動していただければと思います。クラブ活動をしている人もいますが、クラブによっては2～3名と少ないクラブもあります。ソフトボール、サッカーにしても選手が少ないのは残念に思います。

- ・新入生に対しての初めてのオリエンテーションはどのような工夫をされたのか、また連絡のつかない新入生へはどのようなコンタクトをされたのかを知りたいと思いました。

- ・経済的な理由により通学が継続不可能になった生徒さんはおられましたでしょうか。進路選択やそれ以前の段階の自立に向け、夢が描ける状況づくりをさらに進めて頂きたいと願っております。

(3) 令和3年度使用教科用図書選定理由書（各課程・各部）について

- ・特にありません。 ・特に意見はありません。

- ・適切です。

- ・入学者の年齢がいろいろある中で、教科書の選定は大変なことと思います。私は 35 才で桃高に入学しましたが、今でも新しく支給された教科書は感慨深いものでした。

- ・特に異論はありません。

- ・特にございません。内容・学習の観点の総合的視点からの決定であることがわかりました。

6 委員長については、梅田和子委員に決定しました。